



農業技術センターニュース

目次					
	蒸気土壌消毒による効果的な土壌病害虫防除法	… 1		ジベレリン処理によるブルースター種子の発芽促進	… 4
	パーシャルシール包装による青ネギの鮮度保持技術	… 2		‘コシヒカリ’の登熟期高温障害を軽減するための肥培管理法	… 5
	高知のグロリオサ、出番をまつ新しい花たち	… 3		三番茶に発生する炭疽病の効果的な防除法	… 6

蒸気土壌消毒による効果的な土壌病害虫防除法

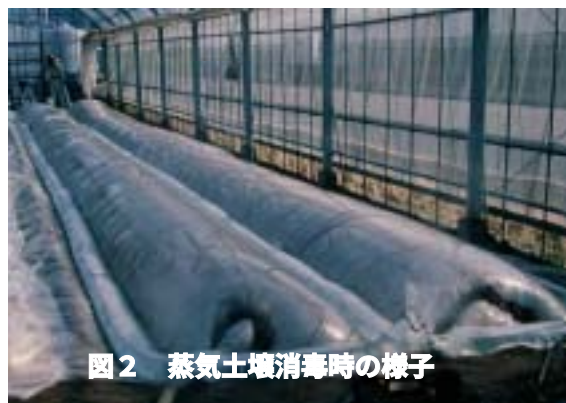
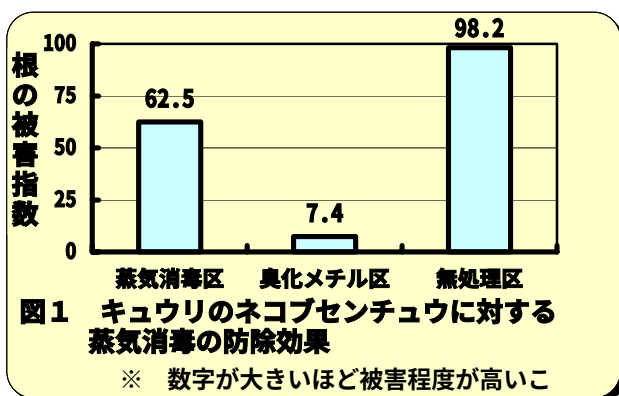
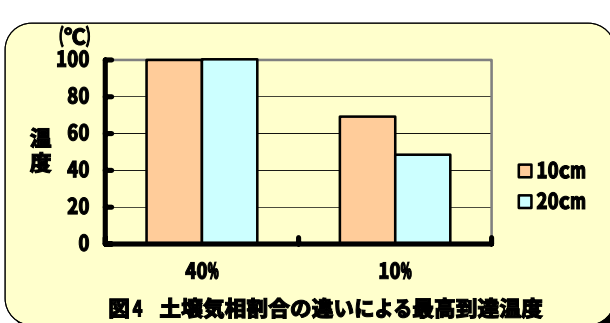
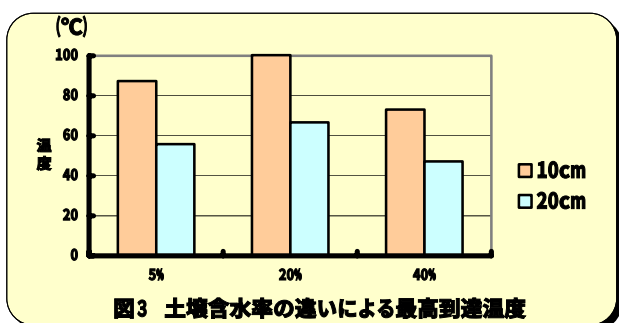


図2 蒸気土壌消毒時の様子



臭化メチル代替対策として、キュウリのネコブセンチュウに対する蒸気土壌消毒の効果について調べた結果、慣行の処理法(地表下 20cm が 60℃ に達した時点で蒸気注入を停止)では防除効果は不十分でした(図 1)。下層部の温度が線虫の死滅温度に達していないものと思われ、他の土壌病害に対しても防除効果が不安定となることが考えられました。

そこで、効果的な蒸気土壌消毒の処理条件を調べました。その結果、気相の割

合が高く、含水率が 20～25% 程度の土壌で地温が上昇しやすいことがわかりました(図 3, 4)。ケイントップなどの粗大有機物を投入して気相割合を高めたり、高畦にして蒸気と接する土壌の表面積を大きくしたりすることで、地温が上昇しやすくなり、防除効果の安定化が図られます。

(病理科 竹内繁治 088-863-4915)

(昆虫科 下元満喜 088-863-4915)